

オーナメント(ダーラナホース)

北欧やロシアの伝統工芸である白樺樹皮を使ったダーラナホース・デザインの制作キットです。材料は、フィンランドで採取した本物の白樺樹皮。この100%フィンランド産の樹皮を使ってかわいいキーホルダーを制作してみましょう。

【完成サイズ】: 約 110 × 104mm
【面取り作業】: 必須
【なめし作業】: 必須
【制作時間】: 約 1 時間
【動画視聴】: あり



【スペック】

- ☐ ベルト (W10×L100~270mm×11 本)
- ☐ 予備ベルト
- ☐ ヒモ
- ☐ 金具
- ☐ レシピ (本紙)

【必要な工具】

< 必須工具 >

- ☐ ラスタ ☐ 木製ピンチ ☐ ハサミ ☐ 定規 ☐ 鉛筆
- ☐ なめし道具 (オリーブオイル、タオル、小皿)
- ☐ 千枚通し ☐ マスキングテープ ☐ ラジオペンチ

< 状況により必要となる工具 >

- ☐ カッター ☐ 輪ゴム
- ☐ ボンド (セメダイン社スーパーXゴールド(XG) <推奨>)



YouTube チャンネルで作り方をチェック！

レシピだけですと、なかなかイメージが伝わらないこともありますので、YouTube (<https://www.youtube.com/>) に動画を用意しています。ぜひご参考ください。YouTube の検索窓から「白樺かごコイブ」で検索！

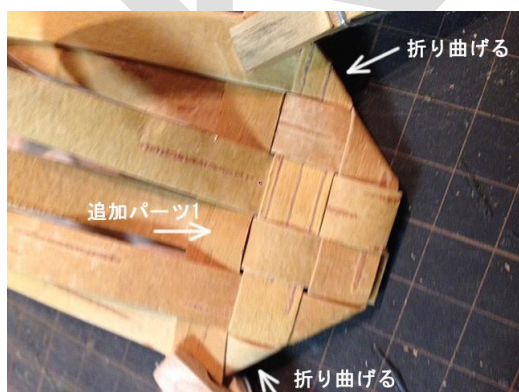
最初に、針金パーツに紐を通して端を方結びしておきましょう。



↑ 写真 1

＜①：約 27cm × 4 本＞のうち 2 本のベルトの外皮面（赤インクで印をつけた側）が合わさるように重ね、両端を同梱のクリップや木製ピンチで固定（パーツ 1）。同じものをもう 1 セット作り、上下に並べます。次に＜②：約 27cm × 2 本＞のベルトを外皮が内側に接するように今度は半分に折り曲げ（パーツ 2）、同じものを 2 セット作り、写真 1 のとおりにパーツ 1 と垂直になるように井桁状にセット。【ポイント】このとき、井桁の組み合わせは写真と同じに。パーツ 2 はパーツ 1 の最左端から 8cm の箇所にセット。

【ステップ 1】写真 2 のように、パーツ 1 下段右の裏側のベルトを表に返しながら 45 度に折り曲げます。そして、下段右の表側のベルトを同じように 45 度裏側に向けて折り曲げ、パーツ 1 上段の 2 本のベルトの間に通します。このことで井桁状に交互に編み込むことができます。今度はパーツ 1 下段の左表側のベルトを表に返しながら 45 度に折り曲げます。そして、下段左の裏側のベルトを同じように 45 度表側に向けて折り曲げパーツ 1 上段の 2 本のベルトの間に通します。写真 2→



【ステップ 2】＜③：約 20cm × 2 本＞をパーツ 1 上段の上から井桁状に交互に編み込みながら上から追加。裏側も同じように追加。配置はステップ 1 と同じように左端から 8cm ほどに合わせます。そして、ステップ 1 と同じように 45 度に折り曲げます。まずは、パーツ 1 中段右の裏側のベルトを表に返しながら 45 度に折り曲げます。そして、中段右の表側のベルトを同じように 45 度裏側に向けて折り曲げ、パーツ 1 上段の 2 本のベルトの間に通します。今度はパーツ 1 中段の左表側のベルトを表に返しながら 45 度に折り曲げます。そして、中段左の裏側のベルトを同じように 45 度表側に向けて折り曲げパーツ 1 上段の 2 本のベルトの間に通します。↑ 写真 3

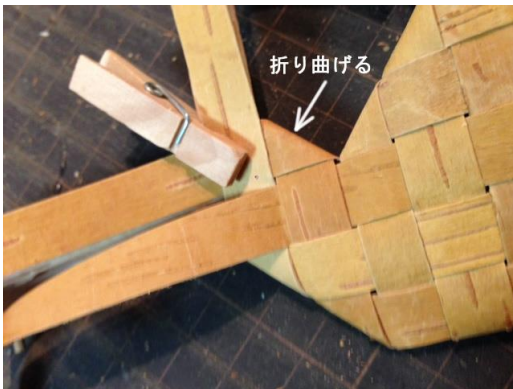
これでお馬さんのお尻ができあがりしました。



【ステップ3】写真4のように上方向に延びる6本のベルトの左から3本目のベルトを45度右方向(お馬さんの首方向)に折り曲げます。まずは、裏側のベルトを表に返しながら45度に折り曲げると自然にパーツ1上段と並行にベルトが折り返されます。この際、井桁状に交互にベルトを通します。そして、表側のベルトを同じように45度裏側に向けて折り曲げ、パーツ2の右側ベルトの間に通します。

←写真4

写真4と同じように、上方向に延びる6本のベルトの左から4本目のベルトを45度に折り曲げます。この45度に折り曲げた2マス部分がお馬さんの腹になります。写真5→



←写真6

【ステップ4】写真6のように3本伸びているベルトを45度に交互に井桁状に折り曲げていくと後ろ足ができます。

【ポイント】3本伸びているベルトのうち2列に並んでいるベルトのうち外側ベルトを45度に折り曲げることを覚えておいてください。まずは、表側のベルトを表に返しながら45度に折り曲げます。そして、裏側のベルトを同じように45度表側に向けて折り曲げ、2列に並んでいる内側のベルトの間に通します。そうすると今後は2列に

並ぶベルトは左側に移ります。今度は表側のベルトを表に返しながら45度に折り曲げます。そして、裏側のベルトを45度表側に向けて折り曲げ2列に並んでいる内側のベルトの間に通します。この作業をもう一度繰り返します。

【ステップ5】<④: 約27cm×1本>のベルトを外皮が内側に接するように半分に折り曲げたものを、写真7のように首となる部分に井桁状に編み込みます。この際、最初に紐を通した針金パーツを今まで作ってきた本体と追加したベルトの間にセットしクリップや木製ピンチで動かないように仮留めします。

写真7→

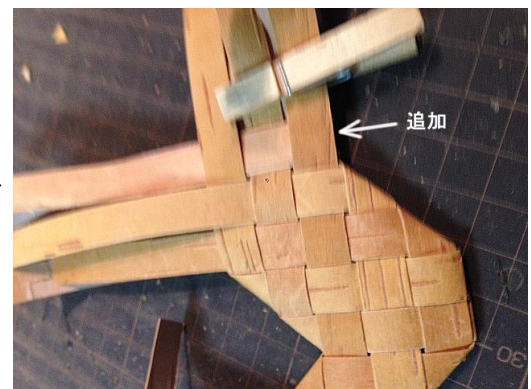


写真7で追加したベルトを写真8で示した部分で45度に折り曲げます。まずは、裏側のベルトを表に返しながら45度に折り曲げます。そして、表側のベルトを同じように45度裏側に向けて折り曲げ、2列に並んでいる内側のベルトの間に通します。ここは、お馬さんの胸部分で、付け足したベルトの先端は前足の一部になっていきます。←写真8



写真 6 の【ステップ 4】と同じように今度は前足となる部分を 45 度折り曲げ、写真 9 のように井桁状に折り返していきます。←写真 9

【ステップ 6】<⑤: 約 15cm × 3 本>のベルトを外皮が内側に接するように半分に



折り曲げたものを、写真 10 のように 1 本付け足してクルリと一周させます。はみ出たベルトの端部分は交差するベルトの下に隠れる箇所でカットして収め、つながっているかのように始末して首部分を作ります。さらに、残りの 2 本のベルトも外皮どうしが内側に接するように半分に折り曲げ、写真 10 で示した方向から 2 本付け足して頭部を作ります。

写真 10 ↑

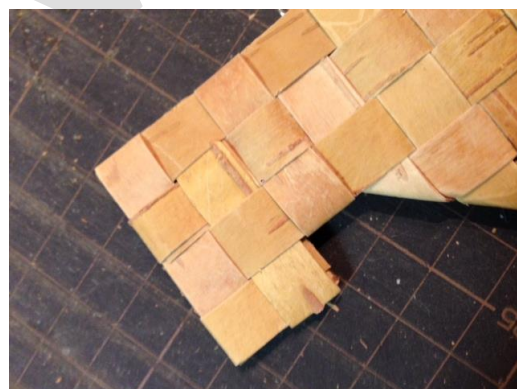


【ステップ 7】写真 11 のように写真 10 で付け足した頭部の下の部分に 90 度方向から<⑥: 約 10cm × 1 本>のベルトを外皮が内側に接するように半分に折り曲げたものを 1 本追加。ここは口鼻先となります。

←写真 11

頭部や鼻先のはみ出た部分を切るなどして折り返して収め

ると写真 12 のような頭部が完成します。写真 12 →



【ステップ 8】最後に足先を処理します。

【ポイント】まずは前足から。写真 13 のようにお馬さんの頭を左に置き換えお腹下から数えて 2 マス目まで足を編み込んでいることを確認。←写真 13

上に伸びている4枚の手前3本を写真 13 で

示した点線に沿ってカット。一番下のベルトはカットしないように。次に写真 14 で示した通りに折り返し交差するベルトの下に通し余分な部分はカット。後ろ足はお馬さんの頭を右に置き換え同じように処理しますが、ヒモを持ってバランスを取り、予備ベルトを後ろ足の内側に 5 本ほど差し込んで平行になることが確認できたら前足と同様に処理して完成です。

写真 14 →

